

シェフラー 中国にてサーマルマネジメントモジュールの生産台数が500万台に到達

- 製品開発や大量生産の経験は、お客さまに利益と費用対効果をもたらすソリューションを提供する鍵
- 内燃機関エンジンベースのパワートレイン及びニューエナジービークル双方のアプリケーションを網羅する製品群の拡大
- 現地生産を継続的に拡大し、お客様と市場ニーズに迅速対応

2022年8月25日 | Bühl/Shanghai/Xiangtan/Taicang/Yokohama

シェフラーは、中国でサーマルマネジメントモジュール(TMM)の生産台数が500万台に達するという、画期的な記録を打ち立てました。このことは、シェフラーがTMM生産およびその事業開発において新たな局面を迎えることを示しています。Schaeffler Greater China のオートモーティブ・テクノロジー事業部の社長であるチェン・シャンビン博士は次のように述べています。「シェフラーの自動車事業ポートフォリオにおいて、サーマルマネジメントモジュールは、飛躍的な成長が期待される重要な分野です。当社中国チームによる懸命な努力とお客さまからの信頼と支援と共に、我々の生産が長年にわたって成長の一端を担い続けていることを非常に嬉しく思います。このことは、当社の製品、技術および中国現地での当社の能力がお客さまに認められていることを証明するものであり、また、顧客志向サービスによってお客さまのニーズに迅速に対応していることを示すものです」

車両とドライバーに心地よい温度

車両をより効率的で使いやすいものにするに関して、サーマルマネジメントは縁の下での力持ち的存在です。電気自動車やハイブリッド車から内燃エンジン車まで、サーマルマネジメントは、パワートレインの効率性向上、快適な乗り心地、そしてCO2排出量の削減において、重要な役割を果たしています。ニューエナジービークルにおいては、走行距離を伸ばしたり、電気駆動システムの安全性を高めたりするのにサーマルマネジメントが寄与します。シェフラーは2011年に、ガソリンエンジン車のパワートレインに使用する最初のサーマルマネジメントモジュールを市場投入して以来、継続的にサーマルマネジメントモジュールの生産に携わってきました。それ以来、モジュールおよびそのコンポーネントを、プロダクトデザイン、精度、効率そして部品の統合レベルで一貫して改良し続けてきました

た。たとえば、内燃エンジン車向けのサーマルマネジメントモジュールは、メカトロニクス設計で、高いコンパクト性と効率性を特徴としており、効果的なエンジン暖機運転時間の短縮、車内快適性の向上、さらに、WLTCモードでの2%から4%の燃費削減に寄与しています。

世界各地の現地での存在感

2016年、シェフラーは中国でサーマルマネジメントモジュールの生産を開始し、現在では、湘潭および太倉の生産拠点に生産ラインを構築しています。長年にわたり、シェフラーはサプライチェーンの現地化を進め、先進的な製造技術を採用し、クラス最高の品質、高いコスト競争力、信頼性の高い納期で、顧客や市場からのますます高まる要求に応え、市場占有率はますます高まり、顧客も多くのローカルブランドや合弁会社に拡大しています。シェフラーAG電動モビリティ事業部門の責任者であるヨッヘン・シュレーダー博士は次のように述べています。「シェフラーは、車両のインテリジェントなサーマルマネジメントシステムの先駆的企業であり、メカトロニクス製品で当社の強みを示しています。電動化によりサーマルマネジメントの複雑さは著しく増大しています。そして、シェフラーは、何十年にもわたる内燃機関エンジンに向けたサーマルマネジメントモジュールの開発・製造から深いノウハウを構築すると共に、電気自動車に向けても革新的なソリューションを開発しています」

中国に加えて、シェフラーは、チェコ共和国のランシュクロウンおよびスピタビ、ならびにメキシコのイラプアトでも、サーマルマネジメントモジュールを生産しています。さらに、韓国、日本、ドイツ、米国で、サーマルマネジメントモジュールの開発を進めています。

さらなる最適化を求めて

自動車サーマルマネジメント分野でのテクノロジーパイオニアおよびマーケットリーダーとして、シェフラーは、さまざまな種類のパワートレインに向けた、あるいは内燃機関ベースのパワートレイン、ニューエナジービークルの双方のアプリケーションを網羅するソリューションを提供するため、製品群を拡大し続けています。電気自動車に向けては、電動モーター、バッテリー冷却システムおよび空調システムを管理・制御するインテグレートッド・クーリングシステムのほか、更に水冷式コンデンサー、バッテリークーラーおよび気液分離器などのコンポーネントを統合した統合型サーマルマネジメントシステムを開発しています。加えて、電気駆動システム(E-axle)にサーマルマネジメントを組み合わせることに成功し、電動モーターおよび車両のサーマルマネジメント全体の性能をさらに向上させています。シェフラーは、電気自動車向けに設計されたサーマルマネジメントシステム、コンポーネントを受注しており、次年度より量産を開始します。



シェフラー中国の役員、オートモーティブ・テクノロジー事業部の経営陣のほか、湘潭、安亭および太倉の従業員が一堂に会し、湘潭の製造拠点でサーマルマネージメントモジュールの生産台数が500万台に到達したことを祝いました。



Schaeffler Greater China のCEOを務めるザン・イリン博士は、式典のスピーチでチームが成し遂げた成果を称えるとともに、さらなる躍進を期待すると激励しました。



シェフラーでは、内燃機関ベースのパワートレインとニューエナジービークルの双方のアプリケーションを網羅するコンポーネントレベルおよびシステムレベルでカスタマイズ可能なサーマルマネジメントソリューションを提供しています。

シェフラーグループ – We pioneer motion シェフラーグループは自動車および産業機械分野における世界的なリーディングサプライヤーとして、75年以上にわたり、モーションとモビリティの分野において画期的な発明や開発を行ってきました。電動モビリティ、CO₂効率に優れたドライブシステム、インダストリー4.0、デジタル化、そして再生可能エネルギーなどのための革新的なテクノロジーや製品及びサービスの提供において、当社はモーションとモビリティをより効率的でインテリジェントかつ持続可能なものにするための信頼されるパートナーです。また当社はパワートレインやシャシー用の高精度コンポーネントやシステム、多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを開発・製造している技術会社です。シェフラーグループは2021年には約139億ユーロを売上げました。約83,000人の従業員を擁するシェフラーは世界最大級のファミリーカンパニーです。また、シェフラーは2021年には1,800件以上の特許出願を行っており、DPMA(ドイツ特許商標庁)によればドイツで3番目に革新的な企業です。

連絡先

シェフラージャパン広報部 ジュディアン・ゴ

TEL: +81 45-287-9151

E-mail: pr-japan@schaeffler.com

